

長野県産米生産・流通・消費等検討会議（第2回） 次第

日時：令和7年9月26日（金） 10:00～12:00

場所：長野県庁議会棟4階404号、405号会議室&オンライン

1 開会

2 あいさつ

3 会議事項

（1）米をめぐる最新情勢及び食料システム法について

（2）個別ヒアリングの共有について

（3）当面の取組・対策の整理・方向性について

（4）情報提供（高温耐性品種の育成状況等）

（5）意見交換

（6）その他

4 閉会

米をめぐる情勢について

1 令和7年産の作付動向

- 農林水産省公表の6月末現在での全国の作付動向は以下のとおり。(赤字は県推計)

	面積(ha) (備蓄米含む)	数量(トン) (平年単収換算)	前年実績比	
			面積(ha)	数量(トン)
全国	1,363,000	7,350,000	+104,000	+560,000
長野県	30,000	186,000	+1,000	+6,200

【参考】過去5年の県内の主食用米の生産量(単位:トン) 【出典:農林水産省「作物統計」】

R3(前年との差)	R4	R5	R6	R7(見込)
183,300(▲2,700)	181,200(▲2,100)	179,900(▲1,300)	179,800(▲100)	186,000(+6,200)

2 令和7年産の生育概況

【農林水産省公表】

- 8月15日現在における10a当たり収量の前年比見込みでは、全国では「令和7年産主食用米の生産見込み(対前年56万玄米トン増)」に向け、おおむね順調に推移としている。
長野県は「前年並み」としている。

【県内の作柄状況】

- 本年は、近年と同様に高温で推移したことに加え、渇水の時期もあったことから、高温障害による品質低下、カメムシ等病害虫の発生、水不足による生育不良などの懸念が生じた。



斑点米カメムシ類



胴割粒

【懸念事項に対する対応状況等】

懸念事項

- 高温障害による品質低下
- カメムシ等病害虫発生

対応状況

- JA技術員、農業改良普及指導員を対象にした研修会を実施し、技術指導を徹底。
- カメムシ等病害虫の注意喚起に関するチラシを作成し、生産者へ周知。
- 収穫遅れによる品質低下を防ぐため、適期収穫を呼びかけるチラシを作成、周知。

- 水不足による生育不良

- 県下各地の渇水状況を隨時把握するとともに、揚排水機場へのポンプ融通などを実施。
(まとまった降雨により水不足は概ね解消)

- 天候に恵まれ、生育は順調に推移し、概ね5日程度前進。
- 上記の対策の徹底もあり、品質は概ね良好な状況。
- 今後についても、引き続き適期収穫を呼びかけ、生産量・品質の確保に努めていく。